



肴町大名行列

西尾祇園祭

カメラルポ

7月15日～17日、西尾祇園祭が中心市街地で開催されました。16日には大名行列をはじめ、獅子舞い、みこしなどが遊歩道を練り歩き、17日には市民総踊り「踊ろっ茶西尾」が行われました。訪れた人々は延べ25万人。熱気に包まれた3日間を写真を中心にをご紹介します。



肴町大名行列



須田町子供みこし



肴町大名行列



天王町獅子舞



中町大屋形



肴町大名行列

江戸時代から引き継がれた 伝統行事 —— 祇園祭 ——

7月16日午後、笛や太鼓の音と歓声がこだまし、祇園祭の始まりを告げた。400年の歴史が蘇る。天王町、吾妻町では獅子が舞い、伊文神社からはみこしが厄男の力強い掛け声とともにゆつくりと動きだす。須田町でもみこしを担ぐ子どもたちの声が響く。

日が暮れはじめ、総勢180人の大名行列が奴姿に独特の掛け声で街を練り歩く。大屋形が祭りの幻想的な雰囲気醸し出し、伊文神社みこしが御旅所で奉納されると祭りの熱気は最高潮に達した。



伊文神社みこし



伊文神社みこし



笑顔と活気に満ちあふれた
市民総踊り — 踊ろっ茶西尾!! —





祭りの最終日は、市民総踊り「踊ろっ茶西尾!!」。今年で17回目を数え、22団体、総勢1540人の踊り子たちが市街地を踊り歩いた。華やかな衣装と個性豊かな振り付けで、楽しく舞い踊る姿に、見ている人の顔も自然と笑顔になっていった。街は熱気と活気に満ちあふれ、大いに盛り上がった。グランプリには、ジュニア部門で「鶴城小けやキッズ」が一般部門で「西尾信用金庫」が選ばれ、歓喜とともに西尾祇園祭のファイナレを迎えた。

